

PR

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン まち・ひとつながる

私も参加
しています!

近未来キャラバン 副隊長
(株)フィールドワークス知財資産経営研究所 代表取締役
こが 達也さん

子どもたちの目線で
地域の宝を見つける
取り組みを継続してほしい!

私はキャラバン隊の「副隊長」として子どもたちの活動を全体的にサポートさせてもらいました。講師役を担当した企業やクリエイターの方々も、「子どもたちのためになるなら」と二つ返事で引き受けてくれました。

毎回、子どもたちを間近で見えましたが、最初は遠慮がちだったのに、みるみる文章やプレゼンが上達していき驚か



市内の小中学生が、A～Dの4班に分かれてプレゼンを行いました

中央区の黒髪校区を舞台に、今年初めて行われた「近未来キャラバン」。市内の小中学生が、キャラバン隊の「隊員」として同校区内を回り、おすすめの店の取材から撮影、Web制作、地域へのプレゼンまでを行って、魅力を発信するというものです。



地元の豆腐店で取材の様子。
皆で話を聞いたり、写真を撮ったり

7月から全5回行われたワークショップでは、市内のデザイン・編集事務所、Web制作会社、写真館など11社の「応援企業」のスタッフが講師となり、子どもたちに取材や撮影、原稿の書き方、パソコンの使い方などを指導しました。

企画した中央区まちセンの瀬井健人さんは、「多世代・多業種の皆さんに関わってもらうことで、これからの地域づくりを担う人材の育成に役立つだけでなく、地域を活性化し、幅広い世代に向けて（地域の魅力を）発信できると考

新たな発見&つながりを生む
取り組みを多くの地域に
知ってもらいたい!



中央区まちづくりセンター
瀬井 健人さん

今回、多くの企業やクリエイターの皆さんに、講師やアドバイザーとして関わっていただき、「黒髪校区ポータルサイト」が完成しました。住民の方々にも、地域資源を再確認してもらいたい機会になったのではないかと思います。

黒髪校区ポータルサイトは、こちらからもアクセスできます!



人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひとつながる

熊本市まちづくりセンター通信 vol.7

熊本市各地域の「まちづくりセンター」の
活動報告・イベント情報をお知らせします。

中央区まちづくり
センター

体験型ワークショップ「近未来キャラバン」を開催
取材者は子どもたち! 地域や
企業とともに、まちの魅力を発信

えました」と話します。

大人も驚くプレゼン力!
成果はWebサイトで

「ものづくりを通しての地域とのつながり」を軸に、中央区まちセンが中心となって実施した「近未来キャラバン」。地域と企業そして子どもたちがコラボし、地域の魅力を発見・発信するというユニークな取り組みです。

10月8日には、黒髪地域コミュニティセンターで、子どもたちが成果を披露するプレゼンテーションが開かれ、自治会や学校関係者、保護者、取材先の店主などが詰め

子どもたちの頑張りは、「黒髪校区ポータルサイト」(<http://kumokami-portal.com/>)で見ることが出来ます。多くの人がつながることのできる地域の魅力や人的資源を再確認できる取り組みは、今後のまちづくりや地域の活性化のヒントになるかもしれません。

わがまち Topics

市内各校区で行われたさまざまなイベントの様子や、これから行われる催しの情報を、まちセンとの関わりなども交えて紹介します。

クラウドファンディングにご協力ください!

河津桜を被災地熊本で咲かせようプロジェクト

静岡県河津町から、「地震で被災した熊本の人たちの心を癒やしたい」との思いを込めた河津桜の苗木が贈られ、11月23日に中央区・北区にまたがる坪井川遊水池で植樹が行われます。一帯の利活用を進める「坪井川遊水池の会」では、現在、クラウドファンディングを実施し、これから桜が成木するまでの維持管理に必要な費用を募っています。地域と子どもたちに元気と笑顔を与える桜を、すくすくと成長させるため、ぜひ皆さんの支援をよろしくお願いします! ご支援いただいた方には、金額に応じて返礼品をお送りします。募集終了期間/～11/30※ 詳しい情報はこちらをチェック!
<https://kumamoto.dreamraising.jp/projects/kumamoto-kawazu-zakura/>



クラウドファンディング特設ページは、こちらからもアクセスできます!



行事レポート

11/12日 地域住民で考える「防災」

【武蔵校区震災対応訓練】

11月12日、武蔵校区で震災対応訓練が実施されました。同校区では、昨年の熊本地震を経験し、自主的に校区防災委員会を発足。本番さながらに、住民、学校、避難所担当職員が、それぞれの役割を考えながら避難所訓練を行いました。
岡龍田まちづくりセンター ☎096(339)3323

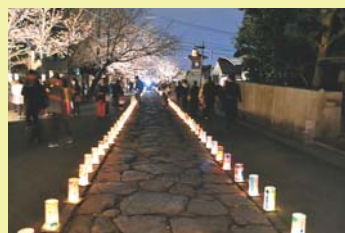


すばいす取材スタッフが調査!

花園地域って、こんなところ

加藤家の菩提寺・本妙寺は
地域の貴重な「資源」

花園校区にある本妙寺は、毎年7月23日に行われる「頓写会(とんしゃえ)」でおなじみ。約400年の歴史を持つ日蓮宗のお寺で、地域の観光資源としても活用されています。昨年まで15年にわたって開催されてきたライトアップイベント「本妙寺桜灯籠(はなとうろう)」は、県外からも見物客が訪れるほど。今年は熊本地震の影響で中止になったので、来春の復活が待たれます。



毎年3月に開催されていた「本妙寺桜灯籠」の様子

「来年こそは必ず開催したい」と意気込む花園校区自治協議会事務局長の境長一郎さん



花園まちづくりセンターです!

熊本市内17カ所のまちづくりセンターを、それぞれのまちセンスタッフ(地域担当職員)が紹介します!

異なる「顔」を持つ3つの校区
少ない人数でもスピーディーに対応!

主任主事 小原陽子さん



3校区を管轄する花園まちセン。城西は史跡などの文化遺産が多く、池田は中心市街地に隣接、花園は住宅地だけでなく自然も豊かなど、それぞれに特徴ある校区です。それだけに地域の困りごとなども異なりますが、まずは「防災」「保健・福祉」など、共通のテーマから取り組んでいきたいと考えています。最近はややく顔と名前を覚えてもらい、地域の方がセンターに立ち寄ってくださる回数も増えました。人数は少ないですが、「できることから」スピーディーな対応を心掛けていますので、気軽にご相談ください!



道が狭く坂道の多い花園校区では、電動自転車が強い味方。時には、田中紀宏所長(左写真中央)自ら自転車地域に出向きます



お問い合わせ

●熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月～金曜・8:30～17:15)、chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
●中央区まちづくりセンター ☎096(328)2232 ●花園まちづくりセンター ☎096(359)1122

